平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場会社名　日本ピグメント株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4119　URL　http://www.pigment.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 浅羽　幸夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長　(氏名) 今井　信一　TEL 03-3258-1412

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	29,815	12.8	462	7.2	512	17.2	71	△67.1
24年3月期第3四半期	26,434	△8.2	431	△63.2	437	△62.0	215	△68.7

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　131百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　△18百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	4.52	―
24年3月期第3四半期	13.73	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	24,275	9,785	37.7
24年3月期	23,658	9,565	38.2

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　9,141百万円　24年3月期　9,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	6.00	6.00
25年3月期	―	―	―		
25年3月期(予想)				8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	8.8	410	△42.0	500	△25.7	40	△90.6	2.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	15,758,994 株	24年3月期	15,758,994 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	44,604 株	24年3月期	43,965 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	15,714,574 株	24年3月期3Q	15,715,624 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報 ……2

(1)連結経営成績に関する定性的情報 ……2
(2)連結財政状態に関する定性的情報 ……3
(3)連結業績予想に関する定性的情報 ……3

2．サマリー情報（注記事項）に関する事項 ……3

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3

3．四半期連結財務諸表 ……4

(1)四半期連結貸借対照表 ……4
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
(3)継続企業の前提に関する注記 ……8
(4)セグメント情報等 ……8
(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8
(6)追加情報 ……9

1．当四半期決算に関する定性的情報

(1)連結経営成績に関する定性的情報

①当期の経営成績

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、第1四半期においては、国内需要も回復傾向が見られましたが、第2四半期に入り海外経済の減速を受け、回復の動きが足踏み状態にあります。我が国経済の先行きとしては、円高の修正による輸出環境の改善が期待される等、徐々に回復の兆しはみられるものの、海外経済の動向は引き続き不透明な状況です。

当業界におきましても、第2四半期以降の海外経済の減速に加え、エコカー補助金終了や中国での日本製品の不買運動の影響等から、とりわけ国内の自動車産業向けにおいて需要が減少しております。

このようななか当社グループは、需要家の海外への生産移管の動きへの対応に注力し、東南アジア地区の販売は比較的堅調に推移しましたが、家電産業向けの落ち込みに加え、第2四半期以降の海外経済の減速を受け、国内外で製品構成の悪化が見られる等、事業環境は依然として厳しい状況にあります。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、29,815 百万円（前年同四半期比12.8％増）、経常利益は512 百万円（前年同四半期比17.2％増）となりました。四半期純利益は、子会社の解散に伴い発生が見込まれる損失を特別損失に計上したこともあり、71 百万円（前年同四半期比 67.1％減）となりました。

②企業集団のセグメント別の状況

当社グループのセグメント業績は次のとおりであります。

日本

日本は、第1四半期においては国内需要も緩やかな回復傾向にありましたが、第2四半期以降、海外経済の減速を受けていることに加え、自動車の国内販売不振等もあり、需要の回復傾向に翳りがみられます。

部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、第2四半期以降の海外経済の減速により需要は減少傾向にあり、とりわけ自動車産業向けに関しては、エコカー補助金終了の影響や中国での日本製品の不買運動の影響から、需要が落ち込みました。次に、樹脂用着色剤部門は、自動車産業向けの需要は落ち込んだものの、情報機器関連が好調で、全体としては概ね計画通りに推移しました。最後に、加工カラー部門は、厳しい事業環境が続くなか、自動車産業向けは落ち込みましたが、建材産業向けは震災の復興需要等から回復傾向にあります。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、18,089 百万円（前年同四半期比 1.4％増）、営業利益は 167 百万円（前年同四半期比 23.7%増）となりました。

東南アジア

東南アジアは、海外経済の減速の影響を受けたものの、インドネシアや南米等の堅調な需要に支えられて、OA産業向けや自動車産業向けを中心に受注が回復しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は 11,334 百万円（前年同四半期比 35.9％増）となりました。損益面においては、汎用製品の比率が比較的高かったこともあり、営業利益は 316 百万円（前年同四半期比 0.1％増）となりました。

その他

その他は、当第3四半期連結累計期間の売上高が 392 百万円（前年同四半期比 56.7％増）、営業損失は 20 百万円（前年同四半期営業損失 19 百万円）となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間末の総資産は 24,275 百万円と前期末の 23,658 百万円に比べ 617 百万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は 13,772 百万円と前期末の 13,468 百万円に比べ 303 百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が 138 百万円、製品、原材料及び貯蔵品が合計で 22 百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産は 10,503 百万円と前期末の 10,189 百万円に比べ 313 百万円の増加となりました。この主な要因は有形固定資産が 216 百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は 14,490 百万円と前期末の 14,092 百万円に比べ 398 百万円の増加となりました。負債のうち流動負債は 11,124 百万円と前期末の 10,717 百万円に比べ 407 百万円の増加となり、固定負債は 3,366 百万円と前期末の 3,375 百万円に比べ 9 百万円の減少となりました。流動負債増加の主な要因は短期借入金が 318 百万円増加したことなどによるものです。また、純資産合計は 9,785 百万円と前期末の 9,565 百万円に比べ 219 百万円の増加となりました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成 25 年 3 月期通期の業績予想につきましては、平成 24 年 10 月 24 日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

従来の方法に比べて、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,107,635	3,246,361
受取手形及び売掛金	6,816,052	6,601,168
製品	1,769,174	1,717,424
原材料及び貯蔵品	1,444,532	1,518,654
その他	331,288	688,989
貸倒引当金	△83	△304
流動資産合計	13,468,599	13,772,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,927,856	2,809,333
土地	3,480,061	3,634,100
その他（純額）	1,226,857	1,408,030
有形固定資産合計	7,634,774	7,851,465
無形固定資産	59,925	76,707
投資その他の資産		
投資有価証券	2,131,689	2,202,204
その他	411,491	415,847
貸倒引当金	△48,185	△42,579
投資その他の資産合計	2,494,995	2,575,471
固定資産合計	10,189,695	10,503,644
資産合計	23,658,294	24,275,938
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,198,820	5,943,129
短期借入金	3,293,454	3,611,618
未払法人税等	62,311	112,123
賞与引当金	216,954	128,123
関係会社整理損失引当金	－	240,000
その他	945,821	1,089,781
流動負債合計	10,717,361	11,124,777
固定負債		
長期借入金	2,678,351	2,591,851
繰延税金負債	395,595	432,011
退職給付引当金	177,411	203,109
役員退職慰労引当金	124,052	139,040
固定負債合計	3,375,410	3,366,013
負債合計	14,092,772	14,490,790

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,047,700	1,047,700
利益剰余金	7,525,632	7,502,394
自己株式	△13,824	△13,962
株主資本合計	10,040,667	10,017,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,995	347,052
為替換算調整勘定	△1,291,917	△1,222,872
その他の包括利益累計額合計	△992,921	△875,819
少数株主持分	517,776	643,676
純資産合計	9,565,522	9,785,148
負債純資産合計	23,658,294	24,275,938

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	26,434,792	29,815,568
売上原価	24,037,801	27,318,956
売上総利益	2,396,991	2,496,612
販売費及び一般管理費	1,965,157	2,033,692
営業利益	431,833	462,920
営業外収益		
受取利息	5,618	4,410
受取配当金	49,428	48,766
持分法による投資利益	11,318	18,098
その他	59,266	80,193
営業外収益合計	125,632	151,468
営業外費用		
支払利息	87,444	82,201
その他	32,691	19,634
営業外費用合計	120,135	101,835
経常利益	437,329	512,553
特別利益		
固定資産売却益	3,667	2,791
特別利益合計	3,667	2,791
特別損失		
固定資産除売却損	7,248	5,475
投資有価証券評価損	20,023	30,880
投資有価証券売却損	51	17
関係会社整理損失	－	281,291
特別損失合計	27,322	317,666
税金等調整前四半期純利益	413,674	197,678
法人税、住民税及び事業税	82,026	158,312
法人税等調整額	88,585	8,604
法人税等合計	170,611	166,916
少数株主損益調整前四半期純利益	243,063	30,761
少数株主利益又は少数株主損失（△）	27,155	△40,290
四半期純利益	215,907	71,052

【四半期連結包括利益計算書】
【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	243,063	30,761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,007	48,057
為替換算調整勘定	△173,640	51,467
持分法適用会社に対する持分相当額	△40,029	1,170
その他の包括利益合計	△261,678	100,695
四半期包括利益	△18,615	131,457
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△45,566	188,154
少数株主に係る四半期包括利益	26,951	△56,697

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

（セグメント情報）

前第3四半期連結累計期間（自　平成23年4月1日　至　平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報　（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注1）	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	日本	東南ｱｼﾞｱ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,841,537	8,342,971	26,184,509	250,283	26,434,792	―	26,434,792
セグメント間の内部売上高	104,213	373	104,587	―	104,587	△104,587	―
計	17,945,751	8,343,344	26,289,096	250,283	26,539,380	△104,587	26,434,792
セグメント利益又は損失（△）	135,058	315,847	450,906	△19,072	431,833	―	431,833

（注）1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自　平成24年4月1日　至　平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報　（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注1）	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	日本	東南ｱｼﾞｱ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,089,086	11,334,220	29,423,306	392,262	29,815,568	－	29,815,568
セグメント間の内部売上高	106,800	－	106,800	－	106,800	△ 106,800	－
計	18,195,886	11,334,220	29,530,107	392,262	29,922,369	△ 106,800	29,815,568
セグメント利益又は損失（△）	167,118	316,002	483,121	△ 20,201	462,920	－	462,920

（注）1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「日本」のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

(連結子会社の解散および清算について)

当社は、連結子会社であります日本プリントインキ株式会社および三和カラーリング株式会社を解散することを決議いたしました。なお、これに伴い、解散による損失見込額を関係会社整理損失として、特別損失に281,291千円計上しております。

1. 解散に至った経緯

当社は、当該連結子会社2社の事業方針について検討を重ねた結果、日本プリントインキ株式会社については化成品事業の合理化のため、三和カラーリング株式会社についてはABS事業を取り巻く環境が年々厳しさを増してきており、国内需要は今後も減少傾向が見込まれる状況のため、それぞれ解散することといたしました。

なお、日本プリントインキ株式会社にて行っていた製造販売は、当社へ移管いたしました。

2. 解散する当該子会社の概要

①日本プリントインキ株式会社

⑴所在地　埼玉県熊谷市今井字上本郷1035番1

⑵代表者　代表取締役社長　平岡　正彦

⑶事業内容　加工カラー製品、樹脂用着色剤製品の製造販売

⑷資本金　90,000千円

⑸設立　昭和42年2月6日

⑹株主構成　当社100%

②三和カラーリング株式会社

⑴所在地　東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号

⑵代表者　代表取締役社長　浅羽　幸夫

⑶事業内容　樹脂コンパウンド製品の製造

⑷資本金　50,000千円

⑸設立　昭和45年4月8日

⑹株主構成　当社52.0%、ユーエムジー・エービーエス株式会社48.0%

3. 当該子会社の解散日程

①日本プリントインキ株式会社

平成24年12月28日に開催された臨時株主総会にて、平成24年12月31日に解散することが決議されました。

なお、平成25年12月31日に清算結了する予定であります。

②三和カラーリング株式会社

平成25年4月30日に解散決議を行う予定であります。また、平成25年9月30日に清算結了する予定であります。